

実験実習機器センター

1 構成員

	平成15年3月31日現在
教授	0人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技官（教務職員を含む）	16人
その他（技術補佐員等）	4人
合 計	21人

2 教官の異動状況

青島 玲兒（助教授）（S59. 5. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成14年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	7編（5編）
そのインパクトファクターの合計	8.32
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	2編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2編（2編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- 熊切葉子, 柴田 清, デイヴィス恵子, 村中祥悟: 試料作製中に生じる血小板の形態変化, 医学生物学電子顕微鏡技術学会会誌, 16, 2: 78-79, 2002.
- 村中祥悟, 柴田 清, 青島玲兒: セルソーターを用いて分離したT, B, NK細胞の形態と機能の検索, 医学生物学電子顕微鏡技術学会会誌, 16, 2: 77, 2002.

3. 太田 勲, 藤垣嘉秀, 村中祥悟: Post-embedding法におけるUnicryl樹脂の有用性, 医学生物学電子顕微鏡技術学会会誌, 16, 2: 82-83, 2002.

インパクトファクターの小計 [0.00]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 記野秀人, 村中祥悟: 寄生虫卵のSEM像と光顕像の比較, 医学生物学電子顕微鏡技術学会会誌, 16, 2: 73-74, 2002.
2. Goto J, Suganuma N, Takata K, Kitamura K, Asahina T, Kobayashi H, Muranaka Y, Furuhashi M, Kanayama N: Morphological analyses of interleukin-8 effects on rat ovarian follicles at ovulation and luteinization in vivo, Cytokine, 20, 4: 168-173, 2002.
3. Takayama T, Fujita K, Suzuki K, Sakaguchi M, Fujie M, Nagai E, Watanabe S, Ichiyama A, Ogawa Y: Control of oxalate formation from L-hydroxyproline in liver mitochondria, Journal of the American Society of Nephrology, 14, 4: 939-46, 2003.

インパクトファクターの小計 [8.32]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. 村松浩二, 村中祥悟: 血管径に応じた血管鑄型作製法, 医学生物学電子顕微鏡技術学会会誌, 16, 2: 80-81, 2002.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 門畑一久, 村中祥悟: Focused Ion beam (FIB) を用いた生物試料内部構造のSEM観察法, 東京大学総合技術研究会報告集, 6: 58-60, 2003.
2. 村中祥悟: CT法によるTEM像の3次元再構築法の生物試料への応用, 東京大学総合技術研究会報告集, 6: 45-47, 2003.

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 村中祥悟 他99名：電子顕微鏡研究者のためのFIB・イオンミリング技法Q&A, アグネ承風社出版, 全208頁.
2. 村中祥悟：ミクロの不思議な世界, メジカルセンス出版, 全259頁.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成14年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成14年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件（万円）
(2) 厚生科学研究費	0件（万円）
(3) 他政府機関による研究助成	0件（万円）
(4) 財団助成金	0件（万円）
(5) 受託研究または共同研究	0件（万円）
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件（万円）

6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	1件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	7件
(3) 学会座長回数	0件	2件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	2件
(6) 一般演題発表数	0件	

(1) 国際会議等開催・参加：

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

1. 村中祥悟：Application of focused ion beam (FIB) apparatus for micro-processing to the biological specimens on the electron microscopy, Symposium on New Technology and Application in Medicine of Electron Microscopy in Korea, 韓国, 2002年10月

(2) 国内学会の開催・参加

2) シンポジウム発表

1. 村中祥悟：CT法によるTEM像の3次元再構築法の生物試料への応用, 医学生物学電子顕微鏡技術学会第18回学術講演会, 2002年4月26日, さいたま市
2. 村中祥悟：灌流固定と血管鋳型法, 第15回医学生物学電子顕微鏡技術学会研修会, 2002年7月, 大分市
3. 村中祥悟：パネルディスカッション/FIBは万能か, 第18回日本電子顕微鏡学会分析電子顕微鏡分科会, 2002年9月, 東京都
4. 村中祥悟：未来の形態学を支える電子顕微鏡と関連技術の発展, 第10回医学生物学電子顕微鏡技術学会シンポジウム, 2002年11月, 東京都
5. 門畑一久, 村中祥悟, 堀田 康明：超小型SEM試料用凍結乾燥装置の試作, 第25回生理学技術研究会, 2003年2月, 岡崎市
6. 門畑一久, 村中祥悟：Focused ion beam (FIB) を用いた生物試料内部構造のSEM観察法, 東京大学総合技術研究会, 2003年3月, 東京都
7. 村中祥悟, 門畑一久：CT法によるTEM像の3次元再構築法の生物試料への応用, 東京大学総合技術研究会, 2003年3月, 東京都

3) 座長をした学会名

1. 村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会第19回学術講演会
2. 村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会第10回シンポジウム

5) 役職についている学会名とその役割

1. 村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会 理事
2. 太田 勲 医学生物学電子顕微鏡技術学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリース数は除く）	0件	0件

(3) 国内外の英文雑誌のレフリース

9 共同研究の実施状況

	平成14年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成14年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道